

松岡みゆき 平成26年度 一般質問

9月議会



①ごみ資源化施設建設時に市民が憩える浴場設置を願う

平成 29 年着工予定の下小山田町の新たなごみ資源化施設ですが、建設時に排出される熱エネルギーを利用した、市民が憩える浴場施設を設置するよう提案しました。市は、リサイクル文化センター周辺まちづくり協議会との協議をもって今後調整、検討したいと述べました。



②所在不明の子供の対応について

平成 26 年 5 月に厚木市のアパートで、育児放棄の結果、当時 5 歳の男児が亡くなり、7 年後に遺体となって発見された事件を受け、市内にも所在不明の子供がいらないか、また所在不明児の対応に福岡市の取り組みを参考にしてはどうかと提案しました。市は、9 月 1 日現在、市内に 3 名の所在不明児がおり、警察および児童相談所等の関係機関と協力して引き続き調査中である。また NPO 法人等の活用については、年々増加する虐待等の相談に対応する為の手段の一つとして検討したいと述べました。



③朝日新聞の誤報「慰安婦問題」について

朝日新聞が慰安婦問題の誤報を認めたが、慰安婦について市の中学校ではどのように教えてきたか、また日本の名誉を守る為にも、正しい歴史教育をすべきであると提案しました。市は、1997 年から 5 年間、慰安婦記述のある教科書を用いてきたが、今は教えていない。国土と歴史に対する正しい理解と愛情を深め、国民としての自覚を育てるよう指導する事が重要だと考えていると述べました。

慰安婦問題でチャンネル桜に出演！



★視聴方法(次のいずれかで視聴)

・YouTube のサイトへ

→ で検索

・または、松岡みゆきのブログ

→ 2014.10.13 付の記事を見る

12月議会

①エボラ出血熱の対策について



平成 26 年 11 月 7 日、エボラ出血熱の疑いのある男性が町田市内の医療機関で診察を受けたとの報道があったが、市ではエボラ出血熱に対してどう対応し、またどのような二次感染防止策を取っているのか問いました。市は、検閲所や保健所の要請に即して行動する事が必要であり、それを市民の皆様にも十分理解して頂く事が最も大切であると述べました。



②子ども・子育て支援制度における認定こども園の課題について

幼稚園と保育の機能を併せ持つ「認定こども園」の認定返上の動きがある中、市の状況、今後の課題、そして利用者への影響について問いました。市は、利用者に説明を行い、園児募集は円滑に実施された。また課題は、公定価格の見直しを国に訴えていくべきだと考えていると述べました。



③市内活性化について

ターミナルプラザ付近の歩行者通行量が半減している中、市内活性化の為、行事周知の掲示板を設置してはどうか、まちだロゴマーク「いいことふくらむまちだ」の車用マグネット版で市内を宣伝してはどうかと提案しました。市は、掲示板については情報収集、費用対効果等を調査して、設置の研究を進め、また車用マグネット版については、キャッチフレーズを入れて庁用車に貼り、宣伝をしたいと述べました。